



# みずほの丘の希望

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

## 合唱コンが終わった…

翌日の君たちの顔は、  
 少しの疲れの中にも  
 爽快さに満ち溢れていた…  
 力を尽くし勝ったクラス…  
 この栄光を次に生かせ…  
 明日に生かしきれなければ  
 ただの自己満足だぞ！  
 負けたクラスの君…  
 負けたから  
 また大きくなれるな…  
 歌も、人間的にも！



校内合唱コンで感動の歌を奏でた1-4、2-4、3-1の3クラスが、11/6に実施された市内音楽会に参加した。どのクラスも令和6年度の歌い納めにふさわしい合唱でした。レベルの高い市内合唱のなかにも、他校には引けを取らない合唱でした！ さああと、みんなで心を込めて歌えるのは…卒業式かな…？

もう半分だけけど…11月の生活目標は…

# 行事が終わった今からが本番。 学校生活の一つ一つを大切にしよう！ …ダ！

3月まで意識して！

11月も半ばとなった…立冬(11/7)も過ぎた…暦の上では、もう冬を迎えている。今年もあと2カ月足らず…。今年度もあと4カ月あまりだ…。西中の前半を振り返ってみると、やはり行事が印象に残る。体育祭に合唱コン、校外学習にいのちの授業、赤ちゃんともふれあった…。日常生活を豊かにする活動もあった。定期試験もそのひとつだ。そして部活動の学総・新人戦…。みんなは慌ただしさを感じたかもしれないが、ここまでよくやってきたと思う。成果や感じたこの個人差はあるかもしれないが、みんながんばったことには変わりはない。保護者・地域の方々から「西中は行事ばっかり…!？」という声がかつてくる。「落ち着いて子供に勉強させてほしい…」という思いとして受け止めている。確かに今の中学生は少し慌ただしい気もするが…。学習指導要領における行事の目的は「望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」ことにある。端的に言えば「一人では生きることのできないこの社会を協力や協働等という人間関係や集団に起因する力で生き抜いていくための能力を養うこと」が行事ということになるのだと思う。キーワードは「人間関係」「集団」「社会」だ！【表1】は『保護者の考える子供に身に付けさせたい力(2023学研調査)』である。ひと目でわかるように社会、他者等、集団で機能する力や非認知能力を求めている声が多い。このように保護者や社会の教育ニーズを確認しても、「集団」「人間関係」という「社会で生き抜く力」が不可欠な力であることがわかる。さて、【表2】令和7年度県内中学校卒業予定者進路望調査が公表された。少子化のなかで特筆されるのは通信制を志望する生徒の激増である。毎年400人近くの生徒が通信制を志望し、進学希望者の5.3%を占める過去最高の割合となった。ここ数年の通信制やフリースクール等の進学者激増は、学びの多様化が定着してきた表れでもある。生徒の特性に応じた様々な学びを選択できる環境が整ったことは歓迎されることではあるが…。16~18歳という青春真っ只中の年代で「個人中心の学び」を選んでしまうことに、この年寄り(私)は違和感を覚えてしまう…。最近の通信やフリースクールは、体育祭が実施され、バーチャルの修学旅行やアバターでのコミュニケーションが図られ、人間関係形成能力育成に力を入れている。長い人生、集団での学びは大学に入学してからでも何とかなるのかもしれない…。でも、この多感な年代での人間関係を大切にしたい学びは、唯一無二のように感じる。私が真の学びは人と人との「切磋琢磨」でしか生み出せないと思っているからかもしれない…。

学校(school)の語源は、ギリシャ語のスコレー(skhole)である。その意味は「余暇、暇」だそうだ。つまり古代ギリシャでは、生活に余裕があり余暇を生み出せる人しか学べず、その学ぶ場所を学校と呼んだのがはじまりのようだ。現在の学校とは意味合いは違うが…、ただ今の学校も「余暇、暇」の影響を受けている気がする。それは保護者をはじめ、社会や集団が生み出した余裕やゆとり(言い換えれば余暇)に支えられるおかげで成り立っているのではないかな…。…であれば簡単には投げ出すことはできないのではないかな…。やはり学校という場で学ぶことは、集団を生きる社会性であり、人間関係であり、チーム力等を学ぶことなのだと思う。行事を重ねるたびに友達が増える、自分が一人じゃない事実を確認する…とても素敵なことだと思うが…。

2024年末、1年生職場体験学習「社会で働く大人から、人生について学んでこい」。2年生修学旅行「仲間とともに、日本の深さにふれてこい」。さあ、3年生、自分の人生を多少なりとも左右する受験に挑戦できるなんて幸せじゃないか。考え方によっては「中学校生活最高の行事」とも言える!?! 多くの行事を成功させてきた西中生諸君、やはり大切なのは「行事が終わった今からだ!」

順位	【表1】 保護者の考える子供に身に付けさせたい力(学研2023)	割合
1	社会生活に必要な知識やマナーなど	80.6%
2	人の意見を受けとめたり自分の考えを伝える力	78.3%
3	情報に左右されず自分で考え判断する力	78.0%
4	広く関心を持ち、自ら学び考える姿勢	77.0%
5	自分独自の発想や想像力	66.4%
6	他者とかかわりチームで協力する力	65.7%
7	他者に頼らず自ら進んで取り組む姿勢	65.6%
8	社会の一員の役割を自覚し、社会に貢献する姿勢	57.5%
9	職業や資格につながる専門的な知識・技能	53.2%
10	将来の学問の基礎として学校での教える知識や技能	49.3%

【表2】 令和7年度進路希望調査 卒業予定者 62,531人 (▲183人)		
県公立全日	41,284人	▲314人
国立全日	193人	▲99人
私立全日	10,082人	+200人
定時制	796人	▲24人
通信制	3,285人	+377人
就職等	112人	▲27人

令和6年度埼玉県新人戦 悔いなく燃え尽きた…2025春まで…思いっきり、深く深く、沈もう！



新人戦を含め秋の大会が一段落した…。それぞれの思いを込めてみんなやり切ってくれた。2025の春までの約半年が長い長い…。この長い冬、春に大輪を咲かせるためにどれだけ深く沈めるかが勝負だ…。思いっきり沈め。来春爆発させるエネルギーを貯えろ！

男子バレーボール部 優勝

■2回戦/杉戸0-2 ■3回戦/戸田・新曽0-2 ■準々決勝/松伏第二0-2 ■準決勝/蓮田・黒浜1-2 ■決勝/春日部・豊野0-2  
 新チーム初の公式戦で緊張もあったと思いますが…立ち上がりに不安が見える場面もありましたが、自分たちの力を出し切った安定した優勝でした。職員玄関前に、3本の優勝旗(新人、学総、協会長杯)が途切れることなく飾られます。挑戦よりも勝ち続ける方が難しい…。そのプレッシャーに打ち勝つ、選手も保護者もコーチの木村さんも、もちろん井上先生も素晴らしいと思います。おめでとうございます。

男子ソフトテニス部団体 2回戦進出

■1回戦/春日部・春日部0-3 ■2回戦/秩父・秩父1-2-1  
 くまがやドームでの1回戦突破は立派な成績です。シード校相手からの1勝は誇れる成績です。来春までモチベーションを継続できるか！

卓球部女子団体 2回戦進出

■1回戦/蓮田・蓮田中2-3 ■2回戦/草加・青柳3-1  
 大善戦です。2回戦も試合内容は激戦でした。何と相手チームはそのまま3位まで勝ち上がりました。来春はベスト8狙えますね！

卓球男子個人/〇〇〇〇 2回戦進出

1回/飯能西:快勝 2回戦/新座第二:惜敗 強豪相手にベストを尽くしました！

陸上競技

■1年男子100m/〇〇〇〇 ■走高跳/〇〇〇〇 ■砲丸投/〇〇〇〇 ■3000m/〇〇〇〇 …予選惜敗

熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で全力を尽くした事実は、君たちの財産になる！ 春の決勝進出を目指して！

埼玉県駅伝競走大会富士見市予選会 男子Aチーム4位 女子Aチーム4位

□女子Aチーム2区:区間賞/〇〇〇〇 10月16日、さわやかな秋空の下、川越市運動公園陸上競技場において、埼玉駅伝富士見市予選が実施された。本校からは男女A・Bの2チーム計22名の選手がエントリーし秋風となった。当日サポートも含め40名以上選手が会場入りをした。彼らは夏休み前からこの駅伝を目指し走り込んできた。この厳しい残暑を物ともせず…。陸上部だけではなく、他の部活や3年生も足に自信のある者が主体的に走り続けた。結果も重要だが、何と言ってもこのプロセスが駅伝の醍醐味だろう。エントリーしてくれた生徒諸君、本当にお疲れ様でした。また、長期間にわたり指導を重ねてくれた陸上部の顧問の先生、保体の先生方にも感謝です。…優勝チームが区間賞を席巻する中での〇〇選手の走りは圧巻でした。おめでとう！

埼玉県アンサンブルコンテスト西部地区大会 木管三重奏 金管五重奏 W金賞受賞

11月10日狭山市市民会館で実施された県西部地区アンコンにおいて、吹奏楽部の木管三重奏、金管五重奏の演奏がそれぞれ金賞を受賞した。少ない人数なので演奏に不安を感じつつ席についていたが…。その第一音は間違いなく他校の音よりも際立っていた。その音色の力強さやバランスには演奏者の自信があふれていた。この成果を是非とも吹奏楽部全体に伝え次のステップへのエネルギーにしてほしい。

富士見市児童・生徒社会科展 教育長賞/〇〇〇〇 入選/〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

富士見市児童生徒読書感想文コンクール 入選/〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

令和6年度 12月行事予定

日	曜	活動内容
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	2年修学旅行荷物搬入(朝) 事前指導(4校時) 部X
5	木	11年+み/職場体験 2年/修学旅行 3年/三者面談 部X
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	2年修学旅行振替休業日 第3期時間割開始
10	火	表彰朝会
11	水	専門委員会 部X
12	木	
13	金	3年いのちの授業 地域学校保健委員会
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	生徒朝会
18	水	中央委員会 部X
19	木	
20	金	給食最終日 短縮4時間授業 ふれあいデー
21	土	
22	日	
23	月	短縮3時間授業(大掃除 学年集会 学活等)
24	火	終業式
25	水	冬季休業日(～1/7)
26	木	
27	金	仕事納め
28	土	昨年開始休業日(学校閉庁) (～1/6) 部X
29	日	
30	月	
31	火	大晦日

幸せに生きるために…(生命尊重と自尊感情の育成) キャリア教育の視点を生かした包括的セクシュアリティ教育の推進



11/12、100人近いお客様を迎えて、今年度研究を進めてきた包括的セクシュアリティ教育について上記テーマにより研究発表会を実施した。当日は1-2、2-2、3-3、みとせが担任の先生方による「幸せに生きるために必要なこと」を考えた授業を展開した。1-2は人が生きるために「あっていい違いとあってはいけない違い」から差別や偏見について考えた。2-2はリスペクトアゼアーズをテーマにグローバルな視点で権について考えた。3-3は日常のジェンダーバイアスについて振り返り、多様性の時代にすべき事について意見を出し合った。みとせでは人の持つしなやかさと優しさを再確認した。今回の研究を通して生徒の持つしなやかさと優しさを再確認した。性差の学習において生徒からこんな発言があった。「性に関することが恥ずかしいとかじゃなくて、知らないことの方がずっと恥ずかしいと思う…。生徒の感覚は一步先を行っている。生徒の生きるこれからは多様性がより深(進)化する時代である。学校としても新時代を幸せに生き抜く力を生徒に育むため、生命尊重、自尊感情を軸とした「子供たちが幸せに生きるための教育」を展開していく。

12/13 金 14:00～ 包括的セクシュアリティ教育をテーマとした地域学校保健委員会が実施されます。是非とも多くの皆様に参加いただければと思っています。

授業を展開した安藤先生、横山先生、増田先生、金子先生…生徒が将来、性教育を受けたことを思い出す素敵な授業でした。埼玉大学の渡辺先生、助産師櫻井先生、関東学院大学の樋上先生、人びと性教育協議会の田中先生、京都教育大学門下先生、市教委指導主事等多くの先生方にご指導いただきました。ありがとうございます。

交通安全…気をつけて！ スマホ自転車運転…厳罰(11/1)！ 11月1日の道交法改正では、自転車の危険運転に対する罰則が厳しくなった。特にスマホの「ながら運転」では6カ月以下の懲役または10万円以下の罰金となった。「自転車だから大丈夫！」はもう通用しない。ヘルメット着用も確実にお願いしたい。学校外ではつけていない生徒をよく見かける。自分の命くらい自分で守れ！